

水稲栽培に 新星現る!

種子から防除を変える
種子から直播が変わる。

- いもち病防除の新定番
ルーチン(イソチアニル)配合。
- 種もみに直接処理する省力的な防除方法。
- 農閑期の薬剤処理で春先の作業を軽減。



ルーチン®FS

新技術で
新登場!



殺菌剤

自然に学び自然を守る



バイエル シードグロース
種子処理の総合ソリューション

種子から防除を変える、種子から直播が変わる。

ルーチン®FS

農林水産省登録 第23424号

- 成分：イソチアニル・・・・・・・・・・・・・・・・18.0%
- 性状：赤色水和性粘稠懸濁液体
- 毒性：普通物（「毒物および劇物取締法」にもつく毒物・劇物に該当しないものを指している通称）

特長

いもち病防除の新定番ルーチン(イソチアニル)を配合

- 植物病害抵抗性誘導型殺菌剤であるため、既存の薬剤耐性イネいもち病菌に対しても有効です。
- 浸透移行性に優れ、長い残効性を有しています。

種もみに直接処理する新技術

- 短時間で簡便に薬剤処理が可能で、本田での薬剤防除と比較して大幅な省力化が可能です。また、種もみに直接処理することで効果ムラの出にくい処理方法です。
- 鉄コーティング、カルパーコーティング、べんモリの湛水直播栽培や乾田直播栽培に適用可能です。
- 薬剤処理した鉄コーティング種子は約6ヶ月の保存が可能です。農閑期に薬剤処理をすることで、忙しい春先の作業を軽減できます。

適用病害および使用方法 (2017年12月現在)

作物名	適用病害名	使用液量	使用時期	総使用回数*		使用方法
				本剤	イソチアニル	
稲	いもち病	乾燥種もみ 1kg当り 原液15~30ml (原液150ml/10aまで)	は種前(浸種前)	1回	3回以内 (直播では種時又は 移植時までの処理は1回以内、 本田では2回以内)	塗沫処理 (種子被覆剤を加用)
			は種前(浸種後)			塗沫処理
						コーティング中又は コーティング後の種もみに 塗沫処理

*印は収穫物への残留回避のため、本剤およびその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

代表的な種子処理方法

①は種前(浸種前)の塗沫処理：(浸種時に処理済種もみから有効成分の流出を軽減するための専用の種子被覆剤が必要です)

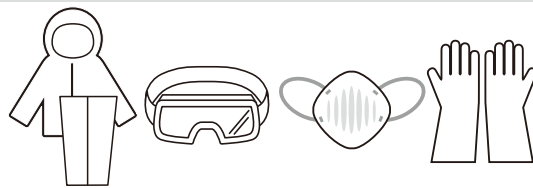
種子処理 ▶ 風乾 ▶ 浸種 ▶ (各種コーティング処理) ▶ は種

②は種前(浸種後)の塗沫処理

浸種 ▶ コーティング*中又は後の種子処理剤塗沫 ▶ (酸化)乾燥 ▶ は種

*：鉄コーティングやべんモリコーティングに適用可能です。
カルパーコーティング時には種子処理剤塗沫後にカルパーコーティングを行って下さい。

薬剤および薬剤処理済み種子を扱う際は、保護衣、保護メガネ、マスク、不浸透性手袋を着用して下さい。



直播水稻の上手な栽培方法

- 鉄コーティング直播水稻栽培では種子の埋没等により苗立ち率が低下します。十分な苗立ちを確保するため、水はけの悪い水田では、は種前の落水を十分にして下さい。
- 圃場の凹凸を少なくし、水たまり等ができないようにして下さい。
- 強風等によりは種入水後に泥被りを受けるなどの影響があります。
- 各地域の指導に合わせた栽培を行って下さい。

注意事項

- 使用前によく振ってから使用して下さい。
- 本剤を誤って過剰に使用すると根の生育抑制が生じる場合があるので使用量を厳守して下さい。
- 本剤を浸種後に塗沫処理をする際は、軽く風乾させた鳩胸状態の催芽もみに所定量の原液を均一に付着させて下さい。
- 本剤を浸種前に使用する際は、所定量の原液に専用の種子被覆剤を加用して種もみに均一に付着させて下さい。
- 本剤をコーティング時に塗沫処理する場合は、コンクリートミキサー又は回転式コーティング機を用いて種もみに処理して下さい。
- 鉄コーティングに使用する資材の量に応じて加水量を調整し、種もみを攪拌させながら均一に付着させて下さい。
- いぐさ栽培予定水田に、本剤を処理した種もみをは種しないで下さい。また、本剤を処理した稲苗を移植した水田ではいぐさを栽培しないで下さい。
- 本剤で処理した種もみは食料や飼料として用いないで下さい。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 誤飲などのないように注意して下さい。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当てを受けて下さい。
- 使用の際は農業用マスク、不浸透性手袋、長ズボン、長袖の作業着などを着用し、作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをして下さい。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意して下さい。

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。●ラベル記載以外には使用しないで下さい。●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。●防除日誌を記載しましょう。

1363(17-12)